

ANNUAL REPORT 2017

2017年3月期

Develop a New Era by People and Technology

人と技術で次代を拓く

MEITEC

Engineering Firm at The Core

Engineering Firm

私たちは「人と技術」でものづくりの核心を

エンジニアに豊かな「エンジニア人生」を提供し、

お客さまにとって欠かせない真の「ベストパートナー」を実現していく存在でありたい。

今まで「人と技術で次代を拓いてきた」私たちだからこそ、今、

そしてこれからもエンジニア採用市場・労働市場と設計・開発業務市場の

双方において、“核心”を担える集団であり続けます。

at The Core

担う、エンジニア集団です

「Engineering Firm at The Core」の意図

Engineering Firm

- メイテックグループの社員一人ひとりが、「自立と支え合い」の精神でお互いを高め合い、成長し続けるエンジニアのプロフェッショナル集団であること

The Core

- 製造業の技術革新において、「大事な、欠かせない」価値を創り出す存在であること
- 世の中のエンジニアが職業を軸に働き続ける上で、「大事な、欠かせない」働き方を提供できる存在であること

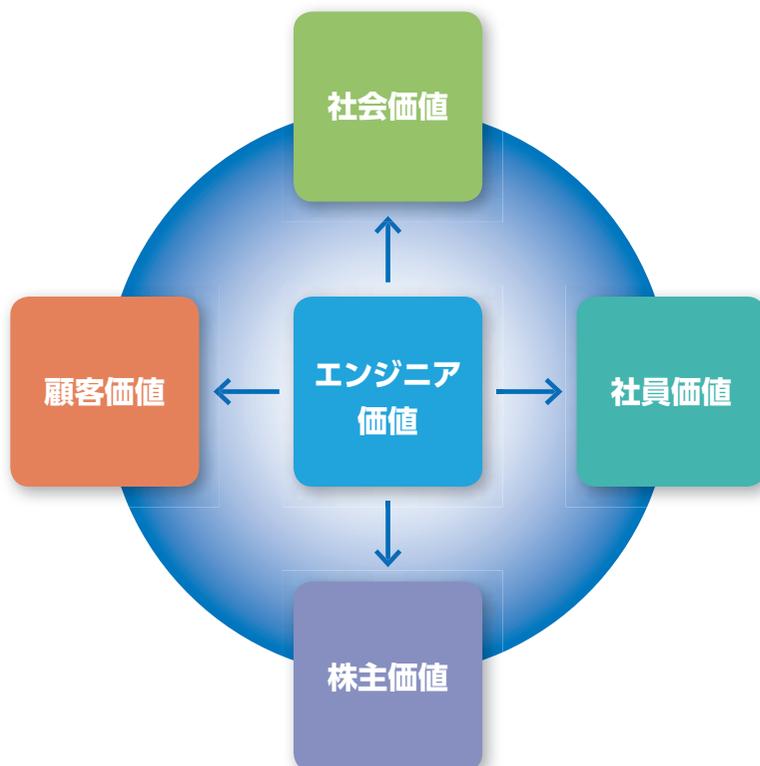
メイテックグループの経営理念

共生と繁栄

《コーポレートスローガン：人と技術で次代を拓く》

メイテックグループの「目指すべき姿」

私たちメイテックグループは、全社員がつながり合い、エンジニア価値を起点として、5つの価値を持続的に向上させます。



① エンジニア価値

豊かな「エンジニア人生」を目指すすべてのエンジニアに対して、最適な「機会と場」を提供し続けます

② 社員価値

「自立と支え合い」に共感し、プロフェッショナルとして成長し続ける社員に対して、最適な「機会と場」を提供し続けます

③ 顧客価値

すべてのお客さまから信頼されるベストパートナーを目指し、最適な「人と技術」のサービスを提供し続けます

④ 株主価値

持続的な価値向上に基づく「健全な利益」を創出し、中長期的に株主還元を最大化します

⑤ 社会価値

生涯プロエンジニアという働き方の確立を通じて、日本に「プロフェッショナルな労働市場」を創り出す先駆者になります

CONTENTS

- 2 経営理念・経営方針
- 4 財務ハイライト
- 6 トップメッセージ
- 12 中期経営計画 (2017-2019)
「Next Stage 1」
- 16 コーポレート・ガバナンス
- 18 役員一覧
- 20 5年間の主要連結財務データ
- 21 経営者による経営成績および
財政状態に関する分析
- 24 連結貸借対照表
- 26 連結損益計算書
- 27 連結包括利益計算書
- 28 連結株主資本等変動計算書
- 29 連結キャッシュ・フロー計算書
- 30 会社概要／株式情報

決算に関する詳細情報

2017年3月期決算の詳細については、有価証券報告書をご覧ください。

<http://www.meitec.co.jp/ir/document/securities.html>

業績予想及び将来の予測に関する注意事項

当社グループが公表する業績予想、見通し、計画、戦略等のうち、歴史的事実以外のものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは公表日現在で入手可能な情報による当社の判断及び仮定に基づいています。

実際の業績や成果等は、さまざまな要素により、これら見通しと大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

ウェブサイト情報

メイテックは、主要経営指標や月別稼働率、決算報告書、四半期報告書及び業績修正のお知らせ等、最新の情報をウェブサイトにて開示しています。

主な内容

- ・ 経営成績 (メイテック及びメイテックフィルダーズの月別稼働率等)
- ・ 株価
- ・ 財務成績及び決算発表
- ・ アニュアルレポート

メイテックでは、新しい情報が当社ウェブサイト追加された際、メンバーリストの登録者にe-mailでお知らせするサービスを提供しています。

詳細は以下のURLをご参照ください。

<http://www.meitec.co.jp/ir/>

財務ハイライト

株式会社メイテックおよび連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

	百万円		
	2015	2016	2017
売上高	¥ 82,136	¥ 87,888	¥ 89,979
営業利益	9,540	10,874	11,142
経常利益	9,643	10,845	11,145
親会社株主に帰属する当期純利益	3,659	8,083	7,937

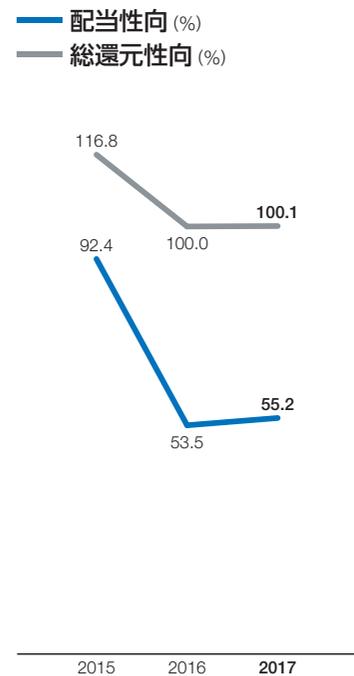
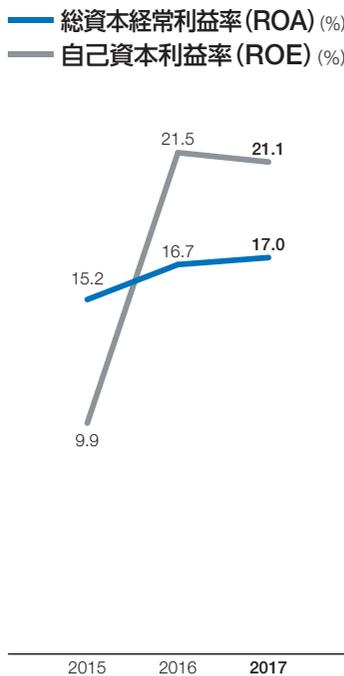
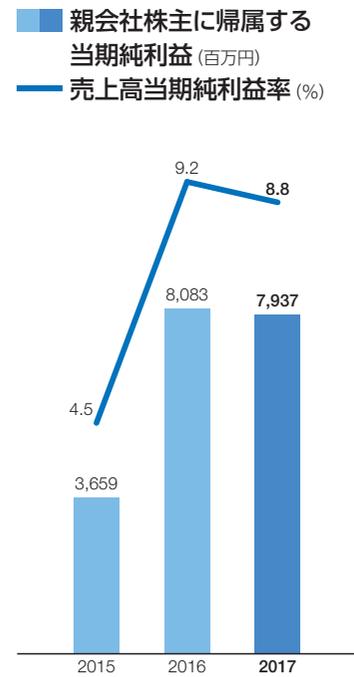
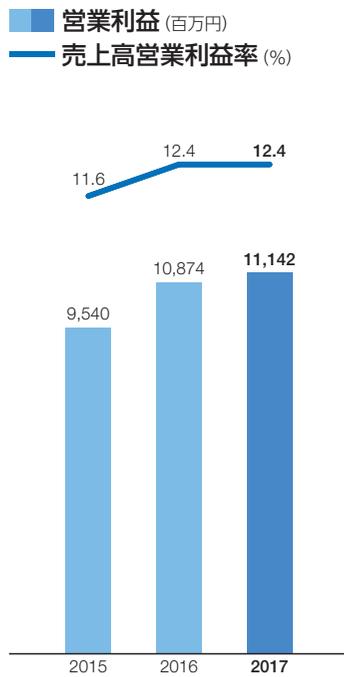
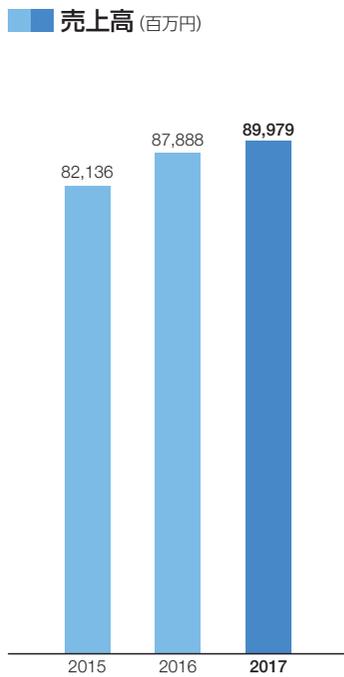
3月31日現在

総資産	65,098	64,468	66,377
純資産	37,565	37,605	37,854
自己資本	37,516	37,543	37,851

1株当たり	円		
当期純利益(注)	¥ 120.11	¥ 269.24	¥ 274.32
配当金	111.00	144.00	151.50
純資産額	1,238.77	1,278.59	1,330.57

(注) 1株当たり当期純利益は、期中発行済株式数に基づいて算出しております。

経営指標	%		
売上高営業利益率	11.6	12.4	12.4
売上高当期純利益率	4.5	9.2	8.8
総資本経常利益率 (ROA)	15.2	16.7	17.0
自己資本利益率 (ROE)	9.9	21.5	21.1
自己資本比率	57.6	58.2	57.0
配当性向	92.4	53.5	55.2
総還元性向	116.8	100.0	100.1



トップメッセージ

一社でも多くのお客さまに、
一人でも多くのエンジニアに、
メイテックグループを活用いただき、
感動や喜びを実感できる
「機会と場」の拡大を目指します。

2017年度、メイテックグループはさらなる成長に向けて中期経営計画「Next Stage 1」を新たにスタートいたしました。人と技術で労働市場の核心を担う、プロのエンジニア集団として、オンリーワン企業を目指していきます。

代表取締役社長
メイテックグループCEO

國分 秀世



メイテックグループ連結の売上高は過去最高を記録。 親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比で微減。

メイテックグループ連結の業績は、主要顧客の大手製造業で、技術開発投資を持続されたため、売上高は前年同期比2.4%増収の899億79百万円、営業利益は2.5%増益の111億42百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比1.8%減益の79億37百万円となりました。減益の背景は、前期は研修施設等の売却による約10億円の特別利益があったためです。

メイテック単体の業績は、稼働人員数の増加により、

売上高は前年同期比1.7%増収の700億83百万円、営業利益は1.7%増益の92億13百万円、当期純利益は前期のような特別利益がなかったため、前年同期比4.3%減益の70億73百万円となりました。メイテックフィルダーズの業績は、メイテック同様稼働人員数の増加により、売上高は前年同期比11.5%増収の148億65百万円、営業利益は11.8%増益の13億46百万円、当期純利益は、税負担の軽減もあり、33.0%増益の10億45百万円となりました。

厳しい採用環境の中、採用基準の保持を前提に採用活動を実施。 2017年4月1日時点のエンジニア社員数は、過去最高の9,185名。

メイテックグループの成長の原動力はエンジニア社員数の増員です。2017年3月期は採用市場におけるメイテックグループのブランドを構築し、エンジニアの方々やエンジニアを目指す学生の皆様に対して、メイテックでの働き方を理解いただけるように訴求すること

で、多くの方に応募いただきました。

その結果、2017年3月末のメイテックグループのエンジニア社員数は、前年3月末比377名(4.6%)増加の8,657名となりました。また、今年4月1日に新卒社員を迎え過去最高の9,185名となりました。

メイテック単体のエンジニア社員数は、3月末時点で、前年3月末比164名(2.5%)増加の6,661名、今年4月1日に新卒社員308名を迎えたことで、過去最高の6,960名となりました。メイテックフィルダーズのエンジニア社員数は、3月末時点で、前年3月末比213名(11.9%)増加の1,996名となり、前中期経営計画の当初目標である1,900名を大きく上回ることができました。また、今年4月1日には新卒社員213名を迎え過去最高の2,225名となりました。



2017年3月期のエンジニア採用市場の環境

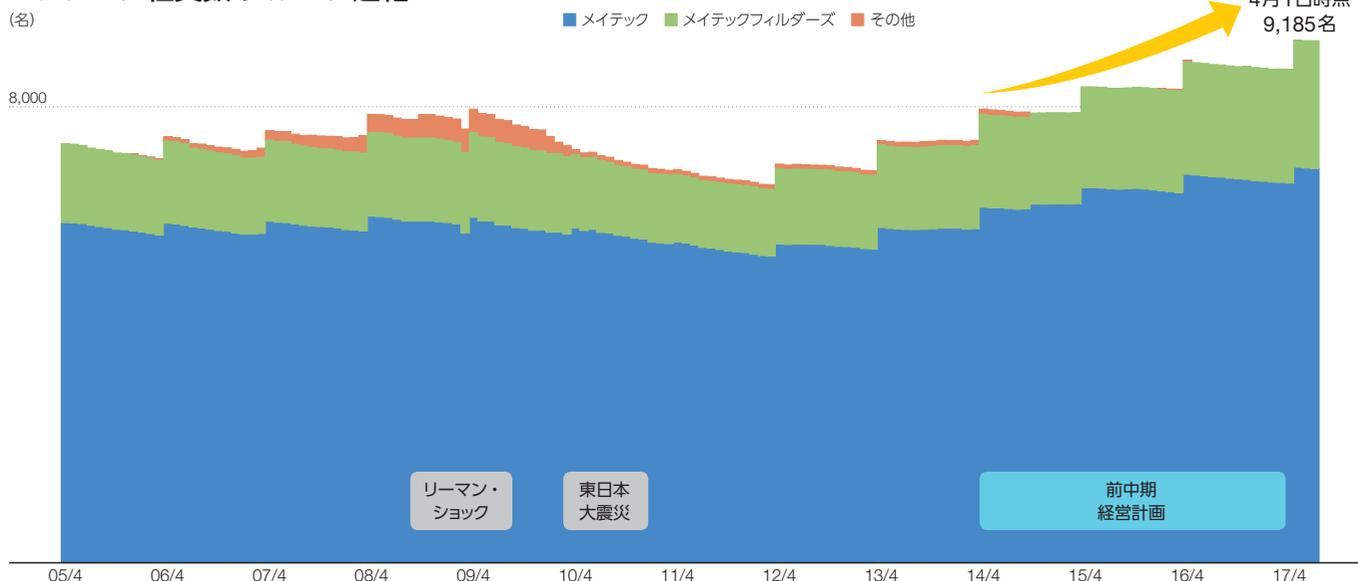
2017年3月期のエンジニア採用市場の採用環境は、企業の技術者に対する採用ニーズが高まっていることから、依然として厳しい状況でした。

メイテックの中途採用については、採用競合が非常に多く、特にメーカー様との競争が厳しい環境の中、採用基準を保持したため、入社数の確保に苦戦し、期初予想比49名減少の111名となりました。一方、メイテックフィルダーズは、応募者確保の工夫など様々な施策が功を奏し、中途採用は期初予想比23名増加の181名となりました。

新卒採用については、求人企業数・募集人員の増加、採用活動の早期化の影響により、極めて厳しい環境の中、新卒世代の傾向を念頭に置き、採用基準保持を前提に活動した結果、メイテックは期初予想比22名減少の308名、メイテックフィルダーズは期初予想比3名増加の213名となりました。

これらを背景に、メイテックは採用基準を保持したため、採用率は6.6%と伸び率は低下しましたが、退職率は4.2%と引き続き低い水準を維持し、増員に寄与しました。メイテックフィルダーズは18.6%と高水準で、退職率も7.5%を維持したため、順調に増員できました。

エンジニア社員数 グループ連結



積極採用による「エンジニア社員数の増員」、 受注獲得と早期配属による「高い稼働率の維持」を達成し、稼働人員数を着実に伸長。

堅調な受注環境の下、稼働率は、メイテック、メイテックフィルダーズ共に安定的に推移しました。メイテック単体においては、前年実績を若干下回っておりますが、その背景は、新卒エンジニア社員の配属業務の厳選を行ったこと、既存エンジニア社員のキャリアアップのために業務ローテーションを推進したこと等が主な要因です。

なお、受注動向については、製造業のお客さまが長い視点で技術開発投資を進められているため、新規受注件数は月350件を超える水準を維持しており、これからも堅調に推移していくと想定しています。

稼働時間については、ワークライフバランスの取り組み等の影響から、時間外労働が減少したため、前年同

期比で低下がみられますが、安定的に推移しました。なお稼働時間の0.1時間は売上高の約1%に該当するため、業績影響の大きい指標の一つとして、引き続き注視していきます。

メイテックの対価は、採用基準を保持し、高い品質を維持することで、業界平均を大きく超える、5,100円の水準に到達しました。メイテックフィルダーズの対価も業界平均よりやや高め、3,600円の水準に到達しました。これからも需要と供給の関係に流されることなく、エンジニア一人ひとりが、高いアウトプットにもとづいた対価を獲得できる状態、「適正対価の獲得」に努めてまいります。

2018年3月期の売上高は、2017年3月期をさらに上回る過去最高の920億円の見込み。

新中期経営計画初年度となる2018年3月期の業績予想は、売上高は前年同期比2.2%増収で、過去最高の920億円、営業利益は前年同期比6.7%減益の104億円としました。減益の背景は、主に販管費の増加を見込んでいるためです。親会社株主に帰属する当期純利益は、営業利益の減益の他、税負担の軽減等を背景に、前年同期比11.8%減益の70億円としました。

メイテック単体の業績予想は、売上高は前年同期比2.0%増収の715億円、営業利益は前年同期比6.7%減益の86億円を予想しています。減益の背景は、販管費の増

加を見込んでいるためです。販管費の増加は採用経費および、2017年3月期に予定したシステム案件が2018年3月期にずれ込んだことによるシステム費用の増加が主な理由です。なお、原価率は前年同期比でわずかに上昇を見込んでいますが、これは、2017年3月期に引き続き、新卒エンジニア社員の適切な研修期間の確保、および業務を厳選した配属を行うこと、エンジニアのキャリアアップのため、戦略的にお客さま先をローテーションさせて配属を行うことを見込んでおり、稼働率の前提条件を前年同期比で0.1%減少としているためです。これらを踏まえ、当期

純利益は前年同期比8.1%減益の65億円としました。

メイテックフィルダーズの業績予想は、売上高は前年同期比10.3%増収の164億円、営業利益は前年同期比3.4%減益の13億円としています。減益の背景は、原価と販管費の増加を見込んでいるためです。原価率の増加は、採用数の増加により、稼働率の前提条件を前年同期比で1.1%減少としているためです。また、販管費の増加は、採用経費とシステム費用の増加が主な理由です。これらを踏まえ、当期純利益は前年同期比13.9%減益の9億円としました。

採用計画については、エンジニアの人材不足から企

業の求人ニーズが高く、2017年3月期に引き続き、非常に厳しい環境が継続すると予想されますが、積極的成長に向けて、前期実績を上回る採用計画としました。2018年4月入社の新卒採用目標はメイテック、メイテックフィルダーズ合わせて前年同期比69名増加の590名としました。また、中途採用目標については、前年同期比73名増加の365名を目指します。

厳しい採用環境であっても、従来と変わらない採用基準を堅持し、様々な方策を講じて応募者集客力の強化を図ること、応募者志向を大切に活動を展開することで、高い目標を達成していきたいと考えています。

利益配分の基本方針は変更しないが、新中期経営計画3ヶ年の総還元性向は80%程度を計画。

2017年3月期の期末配当は、親会社株主に帰属する当期純利益が業績予想を上回ったため、公表予想の1株当たり71円50銭から12円引き上げ83円50銭としました。なお、中間配当金68円と合わせて年間配当金は151円50銭です。

3ヶ年の利益配分計画は、新中期経営計画の基本方針「積極的成長に向けた競争力の強化」にもとづくリスクテイクの状況を踏まえ、自己資本の充実を図るため、計画最終年度2020年3月末の自己資本を約400億円に積み増すこととし、総還元性向は80%程度とします。2018年3月期は、親会社株主に帰属する当期純利益の予想額を70億円として、普通配当は年間総額約42億円で1株当たり148円、自己株式取得は14億円、合計56億円を予想としています。

今後も持続的に成長し続けられる企業グループであり続けることを目指し、企業価値向上に取り組んでまいります。引き続き、みなさまのご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。



中期経営計画(2017-2019)

「Next Stage 1」

2017年4月、メイテックグループは、2017年-2019年までの3ヶ年計画として、中期経営計画「**Next Stage 1**」をスタートしました。

人と技術で労働市場の核心を担うプロのエンジニア集団として
オンリーワンの企業グループとなることを目指します。



グループ一丸となって、
その新たな事業価値を創造するステージへ
挑戦するためのファーストステップ

前中期経営計画では、2014年当時に掲げた当初目標数値をほぼ達成しました。しかし、採用市場の競争激化等が影響し、入社数の確保に苦戦したことから、メイテックのエンジニア社員数は当初目標6,800名に届きませんでした。これは、今後成長していく上での大きな課

題と認識し、これを踏まえて、新たな中期経営計画「Next Stage 1」を策定しました。

メイテックグループの本質

「Engineering Firm at The Core」

今回、新中期経営計画を策定するにあたり、メイテックグループの本質を世の中に正しく伝えていくため、グループの呼称を『Engineering Firm at The Core』と決めました。

私たちは「人と技術」でものづくりの核心を担うエンジニア集団であるということ、その本質をあらためて世の中に正しくお伝えしていきたいという思いを込めています。

また、グループセグメントの名称をこれまでの「エンジニア派遣事業」から「エンジニアリングソリューション事業」に変更しました。

これには、単にこれまでのエンジニア派遣にとどまらず、人と技術の力でサービスの幅を広げ、お客さまの問題解決に対してベストな技術ソリューションを提供していくという意図を込めています。

「Engineering Firm at The Core」の意図

Engineering Firm

- メイテックグループの社員一人ひとりが、「自立と支え合い」の精神でお互いを高め合い、成長し続けるエンジニアのプロフェッショナル集団であること

The Core

- 製造業の技術革新において、「大事な、欠かせない」価値を創り出す存在であること
- 世の中のエンジニアが職業を軸に働き続ける上で、「大事な、欠かせない」働き方を提供できる存在であること

中期経営計画の基本方針「積極的成長に向けた競争力の強化」を掲げ、
2019年度グループ連結の売上高は過去最高水準の1,000億円を目指します。

中期経営計画最終年度の2019年度の収益目標は、グループ連結で、売上高1,000億円、営業利益130億円、営業利益率13%、当期純利益90億円、ROE20%を目指します。

2019年度収益目標

	グループ連結	エンジニアリングソリューション事業		エンジニア紹介事業
		メイテック	メイテックフィルダーズ	
売上高	1,000億円	780億円	200億円	24億円
営業利益	130億円	100億円	17億円	6億円
営業利益率	13%	13%	9%	25%
当期純利益	90億円	利益配分の基本方針を若干見直して、3ヶ年の利益配分計画を策定		
ROE	20%			

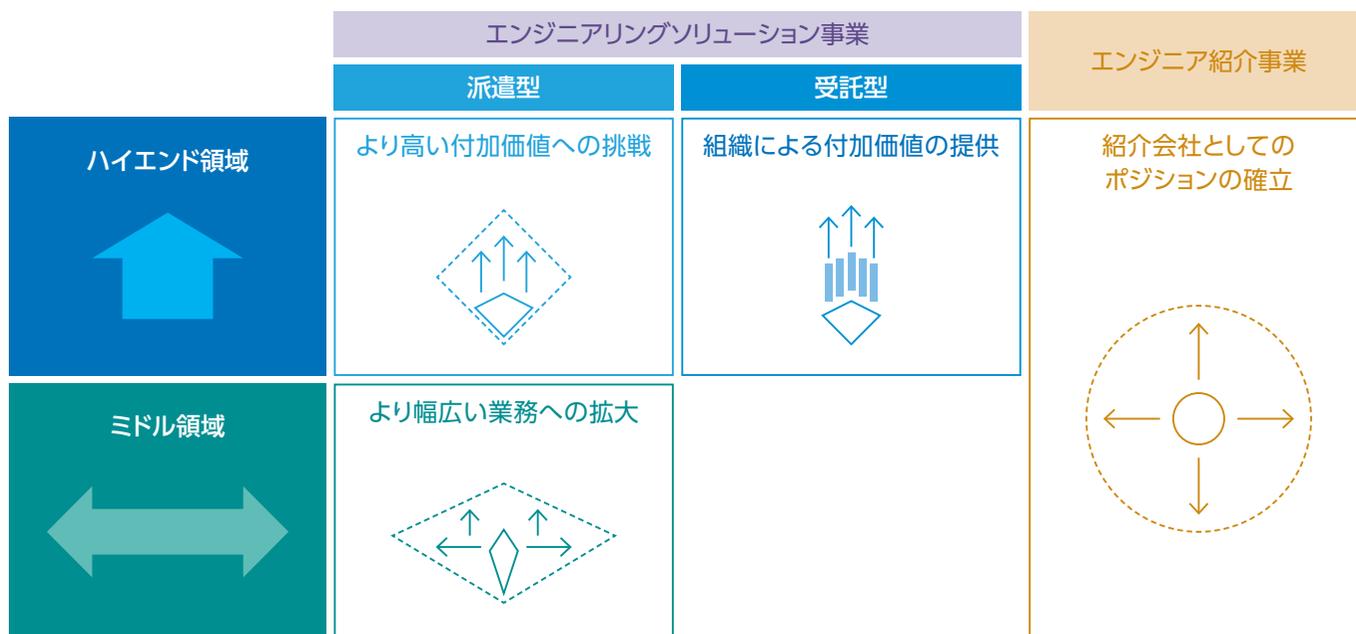
今、製造業のお客さまは、「付加価値と競争優位性」を高めるべく、R&D*領域における社内と社外の技術融合や外部からの知見を活かす戦略のひとつとして、「オープンイノベーション」を加速しています。メイテックグループの「人と技術」によるソリューションサービスは、そのようなお客さまの戦略をしっかりとらえ、様々なニーズに応えられるよう、サービスの選択肢を広げなが

ら、期待される以上の価値を提供していくことにチャレンジしていきたいと考えています。

これらを踏まえ、新中期経営計画「Next Stage 1」では、メイテックグループがハイエンド領域を主体としたオンリーワンの企業グループとなることを目指し、エンジニアリングソリューション事業とエンジニア紹介事業の2つの事業を推進していきます。

※ Research and Development (研究開発) の略

積極的成長に向けた競争力の強化



事業別戦略 ～事業の将来像と目標～

エンジニアリングソリューション事業			エンジニア紹介事業
受託型	派遣型		
ハイエンド領域	ミドル領域		
技術の組み合わせと組織力を武器に変化する技術革新に応える	ハイエンドを無限に創り続ける∞ 「The Only One」	幅広い業務でキャリアアップし続け、高い「技術力×人間力」によりミドル領域No.1	「エンジニア支持No.1」を目指す
特化技術と組織力でしゅきを確立 1. 技術価値向上戦略 2. 技術ソリューション力向上 3. 組織体制の強化	「The Only One」事業モデルの確立 1. ハイエンド市場拡大戦略 2. 市場価値向上戦略 3. 共通基盤の強化	幅広い業務で拡大成長 1. 既存マーケット拡大戦略 2. 新規マーケット開拓戦略 3. 事業運営体制強化戦略	エンジニア紹介領域No.2の決定人数とサービス品質No.1を目標とする 1. 既存マーケット拡大戦略 2. 新規マーケット開拓戦略 3. 機能構築戦略

エンジニアリングソリューション事業はハイエンド領域を主体とした「派遣型エンジニアリングソリューション」と「受託型エンジニアリングソリューション」という、2つのサービスを展開すると同時に、ミドル領域における「派遣型エンジニアリングソリューション」も展開していきます。まず、ハイエンド領域を主体とした「派遣型エンジニ



アリングソリューション」では事業の中核として、ハイエンドを無限に創り続ける「The Only One」モデルを確立し、お客さま・エンジニアにとって最高の価値提供を実現していくことで、持続的な積極的成長の礎を築きます。「受託型エンジニアリングソリューション」では、新たな事業価値を創造していくサービスとして、技術の組み合わせと組織力を武器に、変化する技術革新に応え続けることで、お客さま・エンジニアにとって高付加価値を提供できる状態を目指します。

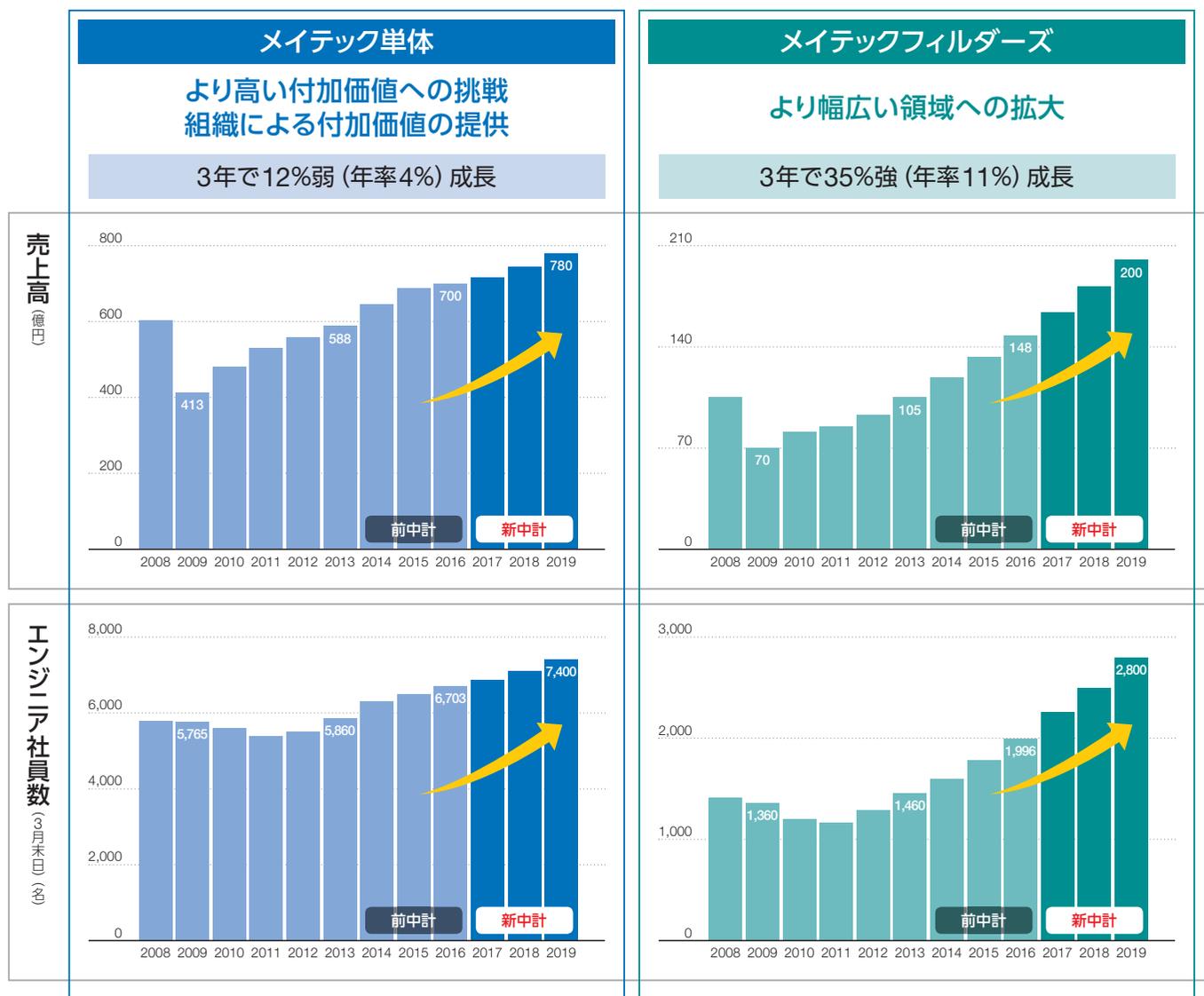
ミドル領域においては、幅広い業務で、キャリアアップし続けることで、お客さまのニーズに今以上にお応えし、更なる拡大成長を目指します。

そして、エンジニア紹介事業では、既存のマーケットを更に深耕し、「技術系人材紹介」でのシェア拡大を図り、「エンジニア支持No.1」を目指します。

『積極的成長に向けた競争力の強化』

これからの3ヶ年、メイテックグループは、ハイエンド領域を中心としたオンリーワン企業になるため、積極的成長に向けた競争力の強化に取り組み、メイテックは12%弱、年率4%の成長を、メイテックフィルダースは35%強、年率11%の成長を目指します。

また、グループの期末エンジニア社員数は、新中期経営計画最終年度で10,200名の達成に向けて、計画最終年度の年間採用数をメイテックで630名、メイテックフィルダースで500名とすることを目指してまいります。



これからも、メイテックグループの「目指すべき姿」を追求し続け、「人と技術」でものづくりの核心を担うエンジニア集団として、自分たちの強みを活かし、持続的な

成長を確実なものにしていくことを、覚悟をもって実現してまいります。

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社グループは、経営理念に立脚した目指すべき姿に明記した5つの価値の持続的な向上を図るため、不断の努力により、当社グループに相応しい経営の監督と業務執行のバランスを追求すると共に、社会倫理に反する事なく健全・透明・公正で、かつ迅速・果敢な意思決定を行う体制の整備等、コーポレートガバナンスの充実に取り組めます。また、監査役制度を基礎として、独立性を有する社外取締役・社外監査役の選任、社外取締役を委員長とする取締役会の諮問機関の設置等による監督機能を強化すると共

に、執行役員制度の採用等による迅速かつ適正な意思決定を図り、実効性のあるコーポレートガバナンス体制の構築に努めます。

なお、当社グループは、当社グループにとって相応しい実効的な「コーポレートガバナンス：透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うための仕組み」の実現を目的として、「メイテックグループ：コーポレートガバナンスに関する基本方針」を制定し、当社ウェブサイトに掲載しています。

「メイテックグループ：コーポレートガバナンスに関する基本方針」

日本語：<http://www.meitec.co.jp/company/principal/governance.html>

英語：<http://www.meitec.co.jp/e/company/principal/governance.html>

会社の機関の基本説明

1. 取締役・取締役会

当社の取締役会は取締役8名（うち社外取締役2名）で構成されています。原則として月1回開催し、当社グループの重要な業務執行の決定、取締役の職務執行の監督を行っており、社外取締役及び社外監査役の客観的、中立的な視点を通じて、適正な経営の意思決定及び監督の強化を図っています。また、当社は執行役員制度を採用し、COO（最高業務執行責任者）1名及び執行役員14名（うち男性14名）を任用しており、取締役会より授けられた内容について、迅速かつ適正な意思決定を図っています。

2. 監査役・監査役会

当社の監査役会は、社外監査役4名（うち常勤社外監査役1名）で構成されています。原則として月1回開催し、監査役会監査計画の決定、各監査役の監査状況の報告、助言・勧告すべき事項の協議等を行っています。また、各監査役は、監査役会が定めた監査役監査規程、監査計画等に従い、取締役会への出席や業務及び財産の状況の調査等を通じ、取締役の職務執行の監査を行っています。

3. コーポレート・ガバナンス委員会

独立性、客観性を高めるために社外取締役を委員長として取締役全員で構成され、取締役会の監督機能を強化し、「取締役会の実効性評価」などに係る説明責任を強化するため、原則、半期に1回定期で（年2回）開催し、下記事項を協議し、必要に応じて協議結果等を取締役会宛に具申及び勧告を行っています。なお、監査役はオブザーブ参加できることとなっています。

- 取締役会の実効性に関する分析・評価
- コーポレート・ガバナンスに関する基本事項
- 社会的責任に関する基本事項
- メイテックグループ・ヘルプライン制度の運営・管理等に関する事項

4. 役員人事諮問委員会

独立性、客観性を高めるために社外取締役を委員長として代表取締役社長と社外取締役で構成され、取締役会の監督機能を強化し、「役員（取締役・監査役）の評価・候補指名・報酬」に係る説明責任を強化するため、年1回以上開催しており、本委員会の内部には、CEO候補者選考協議会（従前のCEO指名委員会を発展的に統合）を設置しています。なお、監査役はオブザーブ参加できることとなっています。

取締役・監査役

	人数	うち社外	うち独立役員	定款上の員数
取締役	8	2	2	22
監査役	4	4	4	4
合計	12	6	6	26

買収防衛策

敵対的買収防衛策である、いわゆるポイズンピル（毒薬条項）は導入していません。

当社グループは、「共生と繁栄」の経営理念に立脚し、エンジニア価値を起点に、5つの価値を最大化していくことで、ひいてはそれが買収防衛につながると考えています。

役員報酬

当社は取締役会において「取締役及び監査役の報酬等の額の算定方法・決定に関する方針」を定めています。報酬の決定方法、考え方、具体的な報酬額等につきましては、当社ウェブサイトでご確認ください。

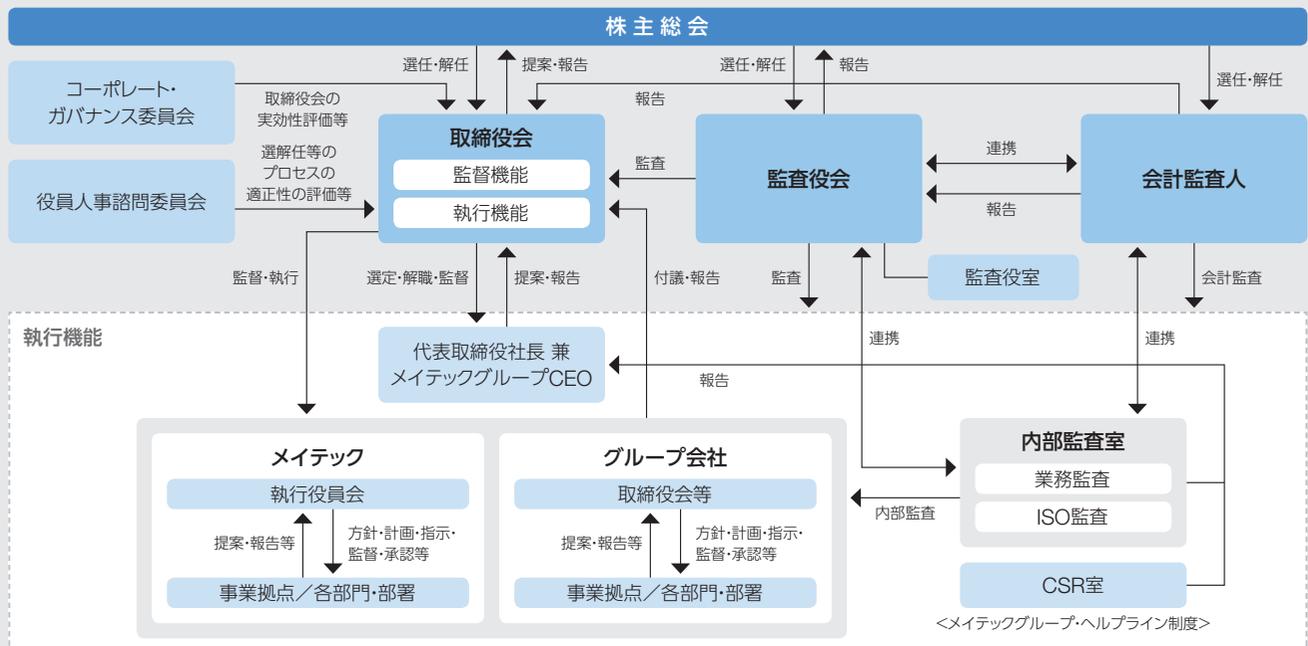
「メイテックグループ：コーポレートガバナンスに関する基本方針」

4.10. 役員報酬【原則3-1 (iii)、4-2】

日本語：<http://www.meitec.co.jp/company/principal/governance.html>

英語：<http://www.meitec.co.jp/e/company/principal/governance.html>

コーポレート・ガバナンス体制図



役員一覧 (2017年6月22日現在)

取締役



國分 秀世

代表取締役社長
メイテックグループCEO
メイテックCEO 兼 COO
内部監査室・CSR 室 担当



米田 洋

取締役執行役員
マーケット開発推進室・営業管理部 管掌
(株)メイテックフィルダーズ・(株)メイテックキャスト・
(株)メイテックネクスト 担当



上村 正人

取締役執行役員
業務企画部門統括、経理部・経営管理部 担当



小笠原 昭喜

取締役執行役員
エンジニアリングソリューション事業部門(ハイエンド領域)統括、
(株)メイテックEX 担当



六郷 裕之

取締役執行役員
キャリアサポート部門・グループ採用部門 統括、
明達科(中国) 担当



伊藤 圭介

取締役執行役員
人事部門 担当

取締役



清水 三七雄

社外取締役〈独立役員〉



岸 博幸

社外取締役〈独立役員〉

監査役



深井 慎

常勤社外監査役〈独立役員〉



齋藤 雅俊

非常勤社外監査役〈独立役員〉



渡部 博

非常勤社外監査役〈独立役員〉



植松 正年

非常勤社外監査役〈独立役員〉

執行役員

中川 弘市

執行役員
受託型エンジニアリングソリューション事業 担当

矢部 哲也

執行役員
グループ採用部門 担当

山田 浩

執行役員
特命担当(受託型エンジニアリングソリューション
事業推進)

蜂谷 勇治

執行役員
社長室・広報部 担当

松井 義和

執行役員
東日本エリア・神奈川・静岡エリア 担当
(東日本エリア統括 兼 神奈川・静岡エリア統括)

渡辺 真司

執行役員
キャリアサポート部門 担当

二村 要

執行役員
中日本エリア・西日本エリア 担当
(中日本エリア統括 兼 西日本エリア統括)

花木 紀好

執行役員
マーケット開発推進室・営業管理部 担当
マーケット開発推進室長

田熊 剛

執行役員
情報システム部 担当 情報システム部長

5年間の主要連結財務データ

株式会社メイテックおよび連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

(単位：千円)

事業年度	第40期 2013	第41期 2014	第42期 2015	第43期 2016	第44期 2017
売上高	¥70,330,667	¥74,906,020	¥82,136,046	¥87,888,926	¥89,979,069
売上原価	51,639,012	55,370,774	60,481,056	64,661,865	66,417,317
売上総利益	18,691,655	19,535,245	21,654,989	23,227,060	23,561,751
販売費及び一般管理費	12,337,497	12,556,019	12,114,265	12,352,273	12,418,942
営業利益	6,354,158	6,979,226	9,540,724	10,874,786	11,142,808
親会社株主に帰属する当期純利益	5,993,183	3,973,792	3,659,870	8,083,761	7,937,496
事業年度末					
総資産額	¥58,002,176	¥61,445,775	¥65,098,321	¥64,468,247	¥66,377,219
流動資産合計	41,802,406	44,998,707	51,639,617	53,104,848	54,742,698
有形固定資産合計	10,908,556	10,555,438	7,207,847	5,721,215	5,552,805
負債合計	19,579,578	25,257,206	27,532,663	26,862,822	28,523,099
純資産額	38,422,597	36,188,569	37,565,657	37,605,424	37,854,120
1株当たり情報(円)					
1株当たり当期純利益金額	¥186.08	¥128.30	¥120.11	¥269.24	¥274.32
配当金	99.00	72.00	111.00	144.00	151.50
1株当たり純資産額	1,229.61	1,182.84	1,238.77	1,278.59	1,330.57
経営指標					
売上高総利益率	26.58%	26.08%	26.36%	26.43%	26.19%
売上高営業利益率	9.03	9.32	11.62	12.37	12.38
売上高当期純利益率	8.52	5.31	4.46	9.20	8.82
自己資本利益率	15.87	10.66	9.93	21.53	21.06
流動比率	431.68	357.43	326.89	389.04	373.35
自己資本比率	66.13	58.82	57.63	58.23	57.02
配当性向	53.2	56.1	92.4	53.5	55.2
株価収益率(倍)	12.59	22.83	33.50	14.61	16.48
その他の情報					
発行済み株式総数(株)	33,000,000	32,500,000	32,200,000	31,300,000	30,000,000
株価(円)	2,343	2,930	4,025	3,935	4,520
株主数(名)	7,160	5,586	5,176	5,343	4,698
従業員数(単体)(名)	6,114	6,341	6,786	6,972	7,132
従業員数(連結)(名)	7,872	8,270	8,725	9,105	9,365

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 従業員数は、就業人員数を表示しております。

3 2013年、2014年、2015年、2016年及び2017年3月31日に終了した各事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

経営者による経営成績および財政状態に関する分析

経営環境の概要

当連結会計年度(2016年4月1日～2017年3月31日)においては、当社の主要顧客である大手製造業各社で、景況に左右されることなく、次代を見据えた技術開発投資を持続される企業が多く見られました。かかる状況下、採用に尽力し、エンジニア社員の増員を図ると共に、堅調な受注環境の下、客先業務の配属を進めた結果、稼働人員数は順調に増加しました。

連結売上高

前年同期比20億90百万円(2.4%)増収の899億79百万円となりました。

連結売上原価

エンジニア社員の増員による労務費増加等を主因に前年同期比17億55百万円(2.7%)増加の664億17百万円となりました。

連結販売費及び一般管理費

前年同期比66百万円(0.5%)増加の124億18百万円となりました。

連結営業利益

前年同期比2億68百万円(2.5%)増益の111億42百万円となりました。

連結経常利益

前年同期比2億99百万円(2.8%)増益の111億45百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益

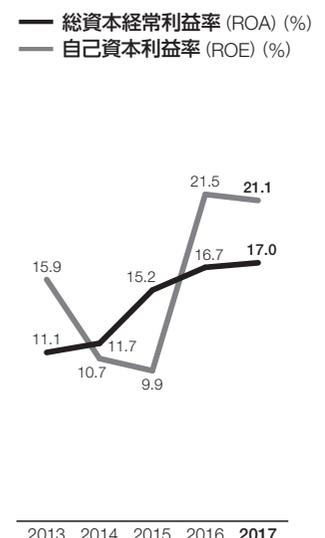
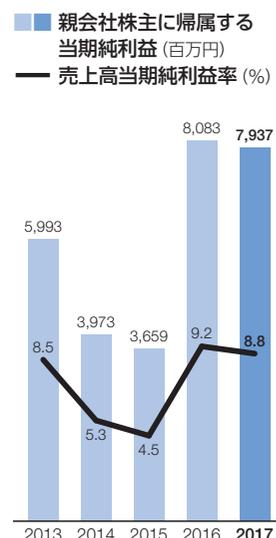
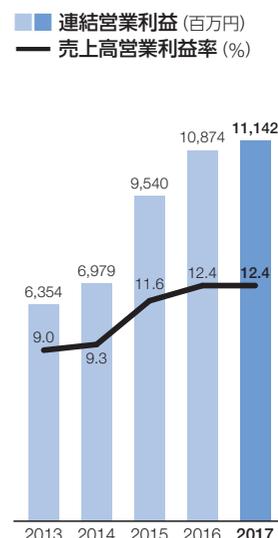
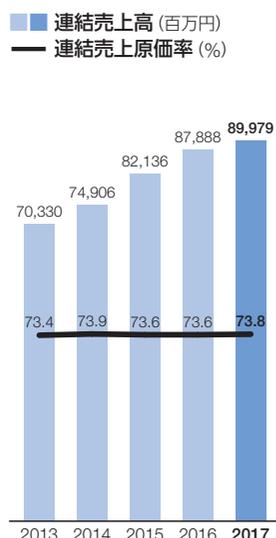
前連結会計年度で研修施設等の売却により約10億円の特別利益を計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比1億46百万円(1.8%)減益の79億37百万円となりました。

事業セグメント*別業績の概要

● 派遣事業

連結売上高の9割超を占める派遣事業、特に中核事業のエンジニア派遣事業は稼働人員数の増加を主因に、売上高は前年同期比29億4百万円(3.4%)増収の875億18百万円、営業利益は前年同期比3億19百万円(3.1%)増益の106億61百万円となりました。

当社単体の稼働率(全体)は、96.7%(前年同期97.2%)と高い水準で推移しましたが、2016年4月に入社した338名の新卒エンジニア社員の配属業務を厳選したこと、また、エンジニア社員のキャリアアップを狙い、戦略的にお客さまや業務をローテーションさせたことから、前年と比較すると若干減少しています。また、年間通して受注環境は堅調でしたが、稼働時間は時間外労働の減少等を要因として、8.78h/day(前年同期8.83h/day)と低下しました。



経営者による経営成績および財政状態に関する分析

● 紹介事業

紹介事業はエンジニアに特化した職業紹介事業および情報ポータルサイト事業を行っています。

紹介事業の売上高は前年同期比1億41百万円(9.5%)増収の16億41百万円、営業利益は前年同期比61百万円(13.1%)増益の5億28百万円となりました。

メイテックネクストは、紹介決定数が引き続き増加し、増収増益となりました。

なお、グループ戦略の見直しの一環として、明達科(中国・上海)は2017年1月以降の新たな人材紹介サービスの提供を終了し、また、2017年4月1日付で株式会社all engineer.jpを当社に吸収合併しました。

● エンジニアリングソリューション事業

エンジニアリングソリューション事業ではプリント基板設計等の技術支援事業を行っていましたが、当社は、同事業を担っていたアポロ技研株式会社について、当社保有の全株式を2016年12月26日付で譲渡しました。

エンジニアリングソリューション事業の売上高は前年同期比10億19百万円(50.9%)減収の9億85百万円、営業損失は47百万円(前年同期は営業利益69百万円)となりました。

※2017年4月1日より、従来の「派遣事業」の名称を「エンジニアリングソリューション事業」に、「紹介事業」の名称を「エンジニア紹介事業」に変更しています。

次期の見通し

● 2018年3月期の連結業績予想

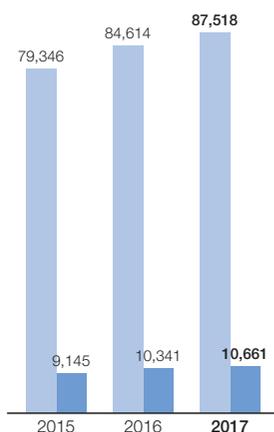
(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
第2四半期累計期間の予想	45,000	4,800	4,800	3,100
前年同期比増減額	+888	△271	△274	△366
2018年3月期の通期予想	92,000	10,400	10,400	7,000
前年同期比増減額	+2,020	△742	△745	△937
第2四半期累計期間の実績	44,111	5,071	5,074	3,466
2017年3月期の通期実績	89,979	11,142	11,145	7,937

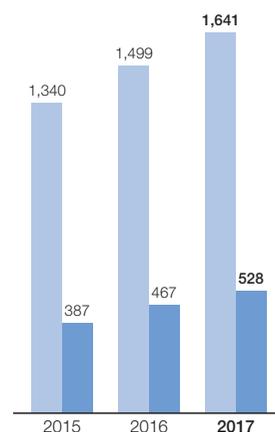
堅調な受注環境の持続を前提に、積極採用によるエンジニア社員の増員などを見込み、2018年3月期の連結業績予想を公表しています。

なお、通期の連結業績予想は、売上高は920億円(当連結会計年度比2.2%増)、連結営業利益は104億円(同6.7%減)、連結経常利益は104億円(同6.7%減)としました。親会社株主に帰属する当期純利益は70億円(同11.8%減)を予想します。

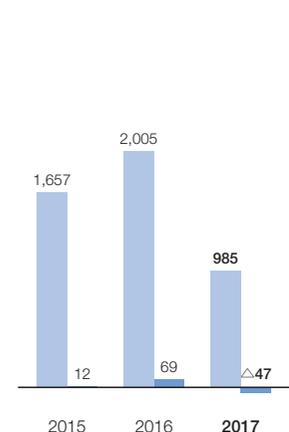
派遣事業 (百万円)
■ 売上高 ■ 営業利益



紹介事業 (百万円)
■ 売上高 ■ 営業利益



エンジニアリング
ソリューション事業 (百万円)
■ 売上高 ■ 営業利益



財政状態に関する分析

●資産の状況

当連結会計年度末(2017年3月31日)の資産合計は、前連結会計年度末(2016年3月31日)比で19億8百万円増加し、663億77百万円となりました。これは、流動資産が前連結会計年度末比で16億37百万円増加したことが要因です。

なお、流動資産の増加は現金及び預金の増加などが主因です。

●負債の状況

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末比で16億60百万円増加し、285億23百万円となりました。これは、流動負債が前連結会計年度末比で10億12百万円増加したことが要因です。

なお、流動負債の増加は未払法人税等の増加などが主因です。

●純資産の状況

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末比で2億48百万円増加し、378億54百万円となりました。これは、当期の経営成績の結果による親会社株主に帰属する当期純利益の獲得に、配当金の支払及び自己株式の取得の影響が相殺されたことなどが主因です。

●キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末比18億45百万円増加の372億59百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

●営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は、前連結会計年度比32億75百万円増加の101億86百万円となりました。

得られた資金の主な内訳は、税金等調整前当期純利益などによるものです。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

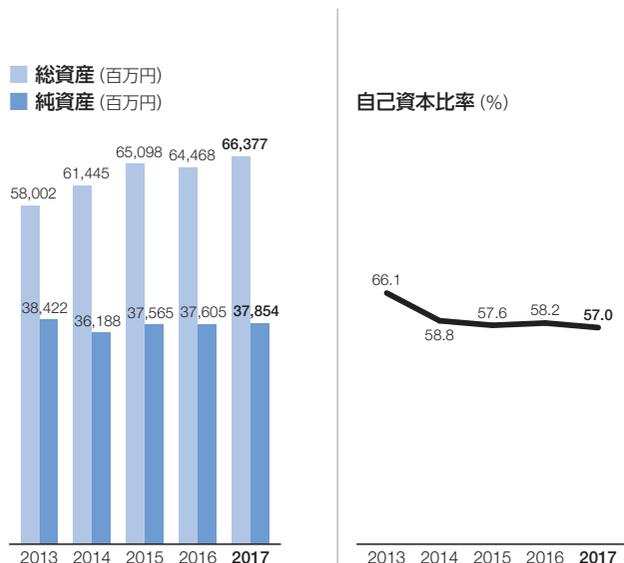
投資活動に使用された資金は、3億25百万円(前連結会計年度は投資活動により得られた資金14億87百万円)となりました。

使用した資金の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出5億40百万円です。

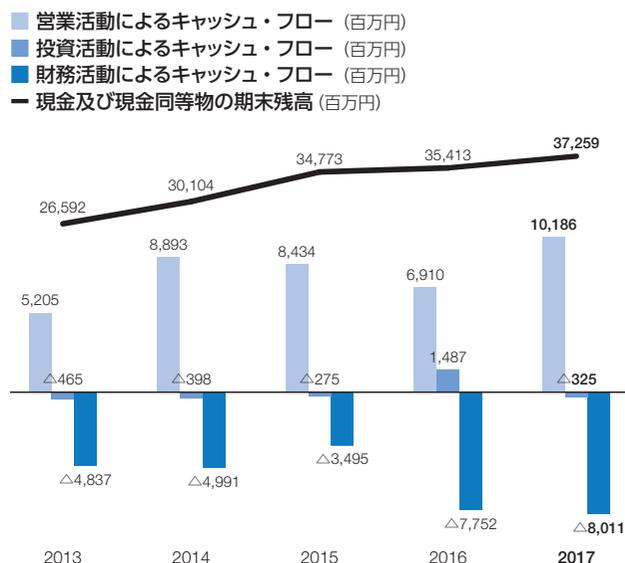
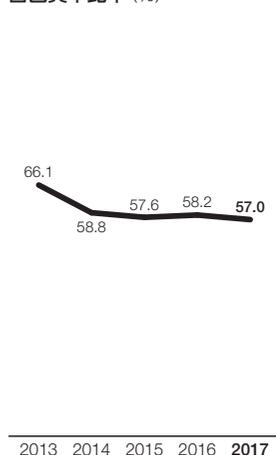
●財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用された資金は、前連結会計年度比2億58百万円増加の80億11百万円となりました。

使用した資金の主な内訳は、自己株式の取得による支出36億14百万円と配当金の支払額43億43百万円です。



自己資本比率 (%)



連結貸借対照表

株式会社メイテックおよび連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

(単位：千円)

資産の部	2016	2017
流動資産		
現金及び預金	35,413,980	37,259,635
受取手形及び売掛金	13,823,668	13,400,482
仕掛品	253,121	175,411
繰延税金資産	2,442,144	2,553,343
その他	1,172,592	1,353,825
貸倒引当金	△659	—
流動資産合計	53,104,848	54,742,698
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,932,414	3,842,626
工具、器具及び備品(純額)	267,406	198,654
土地	1,487,374	1,487,374
その他(純額)	34,020	24,150
有形固定資産合計	5,721,215	5,552,805
無形固定資産		
ソフトウェア	453,808	363,700
その他	291,065	762,309
無形固定資産合計	744,873	1,126,010
投資その他の資産		
投資有価証券	70,621	70,583
退職給付に係る資産	14,234	—
繰延税金資産	4,174,510	4,236,315
その他	664,059	675,103
貸倒引当金	△26,116	△26,297
投資その他の資産合計	4,897,309	4,955,705
固定資産合計	11,363,398	11,634,521
資産合計	64,468,247	66,377,219

財務諸表の詳細並びに独立監査人の監査報告書などについては、有価証券報告書をご覧ください。

<http://www.meitec.co.jp/ir/document/securities.html>

(単位：千円)

負債の部	2016	2017
流動負債		
買掛金	236,270	—
未払費用	3,009,652	3,032,949
未払法人税等	1,262,313	2,335,880
未払消費税等	1,412,475	1,231,268
役員賞与引当金	168,466	206,410
賞与引当金	6,446,314	6,608,299
関係会社整理損失引当金	—	34,078
その他	1,114,810	1,213,624
流動負債合計	13,650,303	14,662,511
固定負債		
退職給付に係る負債	13,195,915	13,860,588
その他	16,603	—
固定負債合計	13,212,519	13,860,588
負債合計	26,862,822	28,523,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,825,881	5,000,000
資本剰余金	4,491,970	11,955,724
利益剰余金	24,645,186	28,236,076
自己株式	△5,989,693	△5,220,876
株主資本合計	39,973,345	39,970,924
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△662,440	△662,440
為替換算調整勘定	8,833	9,315
退職給付に係る調整累計額	△1,776,060	△1,466,541
その他の包括利益累計額合計	△2,429,668	△2,119,667
非支配株主持分	61,747	2,863
純資産合計	37,605,424	37,854,120
負債純資産合計	64,468,247	66,377,219

連結損益計算書

株式会社メイテックおよび連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

(単位：千円)

	2016	2017
売上高	87,888,926	89,979,069
売上原価	64,661,865	66,417,317
売上総利益	23,227,060	23,561,751
販売費及び一般管理費	12,352,273	12,418,942
営業利益	10,874,786	11,142,808
営業外収益		
受取利息	10,486	2,370
受取配当金	75	225
未払配当金除斥益	2,777	4,510
受取賃貸料	4,088	3,990
還付加算金	119	2,498
その他	11,993	6,855
営業外収益合計	29,540	20,449
営業外費用		
投資事業組合運用損	10,032	—
コミットメントフィー	3,444	2,904
支払手数料	5,351	11,317
租税公課	26,135	—
その他	13,894	3,582
営業外費用合計	58,858	17,804
経常利益	10,845,468	11,145,453
特別利益		
固定資産売却益	1,084,965	4
関係会社株式売却益	—	28,598
その他	—	2,733
特別利益合計	1,084,965	31,337
特別損失		
固定資産除却損	3,838	9,424
減損損失	32,815	2,085
関係会社整理損	18,910	—
関係会社整理損失引当金繰入額	—	34,078
その他	9,505	96
特別損失合計	65,069	45,686
税金等調整前当期純利益	11,865,364	11,131,104
法人税、住民税及び事業税	2,891,197	3,534,830
法人税等調整額	877,567	△346,948
法人税等合計	3,768,764	3,187,882
当期純利益	8,096,600	7,943,222
非支配株主に帰属する当期純利益	12,838	5,726
親会社株主に帰属する当期純利益	8,083,761	7,937,496

連結包括利益計算書

株式会社メイテックおよび連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

(単位：千円)

	2016	2017
当期純利益	8,096,600	7,943,222
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	6,016	△4,626
退職給付に係る調整額	△319,447	309,519
その他の包括利益合計	△313,431	304,893
包括利益	7,783,168	8,248,115
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	7,770,295	8,247,497
非支配株主に係る包括利益	12,872	618

連結株主資本等変動計算書

株式会社メイテックおよび連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

2016

(単位：千円)

	株主資本					株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		
当期首残高	16,825,881	7,275,447	20,488,993	△4,970,365		39,619,957
当期変動額						
剰余金の配当			△3,937,063			△3,937,063
親会社株主に帰属する当期純利益			8,083,761			8,083,761
土地再評価差額金の取崩			16,394			16,394
自己株式の取得				△3,802,804		△3,802,804
自己株式の消却		△2,783,477		2,783,477		—
連結範囲の変動			△6,899			△6,899
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						
当期変動額合計	—	△2,783,477	4,156,192	△1,019,327		353,388
当期末残高	16,825,881	4,491,970	24,645,186	△5,989,693		39,973,345
	その他の包括利益累計額					
	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	△646,046	△579	△1,456,612	△2,103,238	48,938	37,565,657
当期変動額						
剰余金の配当						△3,937,063
親会社株主に帰属する当期純利益						8,083,761
土地再評価差額金の取崩						16,394
自己株式の取得						△3,802,804
自己株式の消却						—
連結範囲の変動						△6,899
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△16,394	9,412	△319,447	△326,429	12,808	△313,621
当期変動額合計	△16,394	9,412	△319,447	△326,429	12,808	39,766
当期末残高	△662,440	8,833	△1,776,060	△2,429,668	61,747	37,605,424

2017

(単位：千円)

	株主資本					株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		
当期首残高	16,825,881	4,491,970	24,645,186	△5,989,693		39,973,345
当期変動額						
剰余金の配当			△4,346,606			△4,346,606
親会社株主に帰属する当期純利益			7,937,496			7,937,496
資本金から剰余金への振替	△11,825,881	11,825,881				—
自己株式の取得				△3,602,812		△3,602,812
自己株式の消却		△4,371,630		4,371,630		—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		9,501				9,501
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						
当期変動額合計	△11,825,881	7,463,753	3,590,889	768,817		△2,421
当期末残高	5,000,000	11,955,724	28,236,076	△5,220,876		39,970,924
	その他の包括利益累計額					
	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	△662,440	8,833	△1,776,060	△2,429,668	61,747	37,605,424
当期変動額						
剰余金の配当						△4,346,606
親会社株主に帰属する当期純利益						7,937,496
資本金から剰余金への振替						—
自己株式の取得						△3,602,812
自己株式の消却						—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						9,501
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	481	309,519	310,000	△58,883	251,117
当期変動額合計	—	481	309,519	310,000	△58,883	248,695
当期末残高	△662,440	9,315	△1,466,541	△2,119,667	2,863	37,854,120

連結キャッシュ・フロー計算書

株式会社メイテックおよび連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

(単位：千円)

	2016	2017
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	11,865,364	11,131,104
減価償却費	454,521	461,465
減損損失	32,815	2,085
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,050	△477
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	87,957	37,944
賞与引当金の増減額 (△は減少)	485,792	175,161
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△5,859	34,078
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,053,351	1,140,295
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△285	1,353
受取利息及び受取配当金	△10,561	△2,595
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△28,598
固定資産売却損益 (△は益)	△1,075,459	92
固定資産除却損	3,838	9,424
売上債権の増減額 (△は増加)	△965,613	72,151
たな卸資産の増減額 (△は増加)	39,702	△6,422
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	7,841	△205,823
仕入債務の増減額 (△は減少)	91,085	△159,303
未払費用の増減額 (△は減少)	149,841	59,364
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,670,766	△178,622
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	106,471	78,266
その他	102,653	△19,010
小計	10,749,639	12,601,936
利息及び配当金の受取額	10,120	3,025
法人税等の支払額	△3,898,632	△3,220,435
法人税等の還付額	49,846	802,368
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,910,973	10,186,894
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△186,720	△122,156
有形固定資産の売却による収入	2,093,944	10
無形固定資産の取得による支出	△224,442	△540,755
固定資産の除却による支出	△108,024	△2,457
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△86,946	△48,729
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	385,962
その他	—	2,717
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,487,809	△325,408
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△3,808,116	△3,614,094
配当金の支払額	△3,932,533	△4,343,210
その他	△12,191	△54,207
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,752,841	△8,011,512
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,138	△4,318
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	643,802	1,845,654
現金及び現金同等物の期首残高	34,773,112	35,413,980
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,934	—
現金及び現金同等物の期末残高	35,413,980	37,259,635

会社概要

(2017年4月1日現在)

社名

株式会社メイテック

資本金

50億円

設立

1974年7月17日

本社所在地

〒107-0052 東京都港区赤坂8-5-26

Tel (03) 5413-2600 (代)

本店所在地

〒451-0075 名古屋市西区康生通2-20-1

Tel (052) 532-1811 (代)

社員数(連結) (2017年3月末時点)

9,365名

連結子会社

エンジニアリングソリューション事業

株式会社メイテックフィルダーズ

株式会社メイテックキャスト

株式会社メイテックEX

エンジニア紹介事業

株式会社メイテックネクスト

明達科(上海) 科技有限公司

明達科(上海) 人才服务有限公司

株式情報

(2017年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数: 142,854,400株

発行済み株式総数: 30,000,000株

株主数(自己名義株式を含む): 5,414名

証券コード: 9744

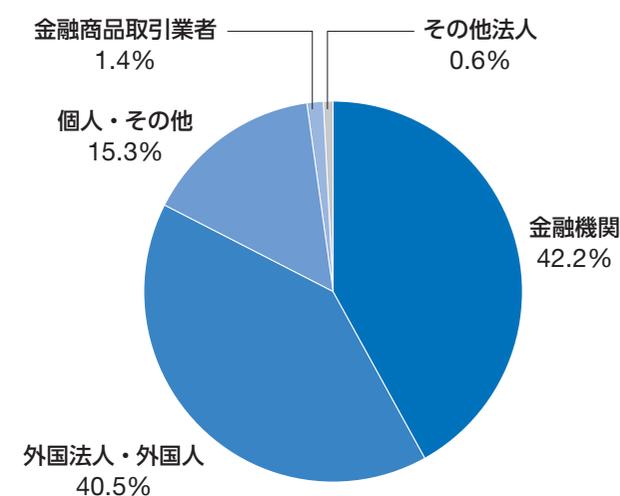
上場証券取引所: 東京証券取引所 第1部

株主名簿管理人: 三菱UFJ信託銀行株式会社

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,220,000	7.40
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,061,900	6.87
日本生命保険相互会社	1,591,258	5.30
明治安田生命保険相互会社	1,565,588	5.22
CREDIT SUISSE SECURITIES (USA) LLC SPCL. FOR EXCL. BEN	948,089	3.16
メイテック社員持株会	915,054	3.05
JP MORGAN CHASE BANK 385632	882,501	2.94
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	792,310	2.64
GOLDMAN,SACHS& CO.REG	566,500	1.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	491,400	1.64
上位10名計	12,034,600	40.12

所有者別株主分布状況



人と技術で次代を拓く

MEITEC

Engineering Firm at The Core

IRに関するお問い合わせ

株式会社メイテック 経営管理部

Tel: 03-5413-0131 Mail: ir@meitec.com

